

木下智彦

国政レポート

2016春②-1号(豊中市南部版)

発行

木下智彦事務所

〒560-0021

大阪府豊中市本町1丁目5-8

高山第一ビル3階

Tel: 06-(6857)-1125 Fax: 06-(6857)-1126

Mail: kinoshita.tomohiko@gmail.com

HP: <https://kinoshita-tomohiko.net/>

地元の豊中南部における小中一貫教育導入課題について 文部科学大臣の見解を求める！



小中一貫教育により
生活環境、学力
課題は解決できるか？

←2月25日(木)衆議院予
算委員会第4分科会にて

馳文部科学大臣に質問する
木下智彦議員

「小中一貫教育」のメリット・デメリットは？

豊中市南部(庄内)地域における行政サービス拠点の再編計画((仮称)南部コラボセンター)に伴う小中一貫校設置計画が進んでいることを受けて、文部科学省が推進する小中一貫教育について馳文部科学大臣に質問しました。

小中一貫により人間関係が固定化してしまうことによるトラブルの可能性等のデメリットもありますが、連続性のある教育による学力向上、異学年間の交流やいわゆる中一ギャップの解消等の多くのメリットがあり、文科大臣からも小学校中学校ともに基礎自治体が設置者であることから総論としてもっと早くから制度として取り組んでも良かったのではとの国としても同制度を推し進める答弁がありました。

「庄内に引っ越して子どもを育てたい！」と思われる街に！

今回の小中一貫校設置計画にあたり、豊中市からは庄内地域の抱える教育上の諸課題として「小規模校化の課題」「通学区域の課題(分割校…中学校進学時に通う学校が分かれてしまう)」とともに「生活・学習課題」が挙げられています。具体的には、規則正しい学習習慣が整いにくく、学校に来られなくなる子どもが見られる、進級進学につれて学習内容が難しくなり、学習意欲が低下する子どもが見られるとあります。

環境の悪化により特に子育て世代の人口が流出し、子どもたちの切磋琢磨が起きなくなっていくという負のスパイラルが起こっているからであるとも考えられ、そうした地域のイメージを払しょくし「豊中の教育と言えば庄内だ」と言われるくらいのブランド化を幼児保育・学童保育などとの連携・充実も含めた教育環境・生活環境の整備・先鋭化により、他の地域からも「庄内に引っ越して子どもを育てたい！」と思われるような地域の活性化につなげたいとの思いで、今回の議論が進んでいくことを切望しこの機会に国会で質問をしました。引き続き政府の更なる後押しも引き出すべく国会での議論を続けていきます。